

小幡緑地の湿地で見られる東海地方固有の主な植物



ハルリンドウ



トウカイモウセンゴケ



サギソウ



シラタマホシクサ



ジョウビタキ



オオバン



ホシハジロ



ルリビタキ



オナガガモ



ハシビロガモ



カンムリカイツブリ

小幡緑地で見られる主な冬鳥

守山探検隊



守山探検隊 まちあるきイベント

小幡東部コース 4.1 km

～ 小幡緑地と小幡ヶ原を歩く ～

① スタート
ゆとりーとライン

② 県営小幡緑地

③ マメナシ
(自生地 ● 印)

④ えん堤と砂防学習舎

⑤ ホタルの里

⑥ 小幡ヶ原射撃場跡

⑦ 戦後開拓地時代の
名残の直線道路

⑧ 名古屋飛行学校跡

⑨ ゴール 小幡駅
周辺と駅舎の変遷

カ 小幡遺跡

奈良時代の土坑や
須恵器、布目瓦などが
出土している。

オ 小幡小林古墳

直径 16m の円墳で、横
穴式石室から組合式石棺
が 2 個出土。6 世紀後半
以降のものと思われる。
周辺には小規模の円墳が
多くあったが、小幡小林
古墳も含め全て滅失。

ア 小幡緑地 1～3 号墳

直径 15m・高さ 0.6m、
直径 15m・高さ 1.2m、直
径 18m・高さ 2m の 3 基の
円墳が残存している。

イ 小幡茶臼山古墳

6 世紀後半に作られた前
方後円墳で、猿投型円筒埴
輪は使用せず、横穴式石室
や組合せ式石棺などに畿内
的な特徴をもつ。1960 年代
の開発で墳丘が削られた。

ウ 小幡長塚古墳

6 世紀前半の前方後円墳
で墳丘長は 81m。二重周濠
を備える。かつては陪塚を
含め「七塚」と呼ばれた。

エ 池下古墳

5 世紀末～6 世紀初めに
作られた小型の前方後円墳
で墳丘長は約 40m。尾張で
最古の横穴式石室をもつ。
隣接して 2 号墳があった。

コース付近の主な遺跡

● 印：残存 ● 印：滅失

詳細図 3
道路を渡り
階段を上まで
登る

詳細図 4
迂回して、
信号交差点に
出る道を通る

詳細図 1
トンネルの
手前を右へ

詳細図 2
横断歩道を渡り
学校を西へ

詳細図 6
スクランブル
交差点を
南西に渡る

詳細図 5
狭い斜めの道を抜け、
広い斜めの道の
歩道を通る



モリスちゃん

バス停

ゆとりーとライン
バス停



名古屋市営バスの
各バス停の時刻表
は QR コードから
ご覧ください

<スマホサイト>



時刻表・経路・乗り場の問合先
【問合】市バス・地下鉄テレホンセンター
TEL: 052-522-0111
営業時間 8 時～19 時 (年中無休)

<携帯サイト>

地図は名古屋市都市計画情報提供サービスから引用